

南白小の未来をえがく！

令和 5 年 6 月 1 9 日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

校長室だより 第4号

言語能力の向上

教科を横断して付ける能力として、(1)言語能力、(2)情報活用能力、(3)問題発見・解決能力の3つが示されています。

そのうち(1)言語能力は、国語科を中心に身に付けるべき力です。①創造的・論理的思考、②感性・情緒、③他者とのコミュニケーションの3つの側面から、言語能力とは何か整理されてきました。国語科を要として、教育課程全体を見渡した組織的・計画的な取組をしていく必要があります。

まさに、学力の基礎です。そんな言語能力の向上を目指した国語の学習についてお伝えします。

国語…1年生 理由を話そう

教科書の挿絵にある暗い表情の顔を見ながら、どんなときにこんな表情になるのか考えま

○暗い表情になるとき

- ・悲しい ・いやな気持ち
- ・さみしい ・不安

○その理由

- ・転んだ ・1人ぼっち
- ・しかられた など

した。教師は、共感的に話をしていきます。根拠を明確にする大切な学習です。論理的な思考力の一步です。

ペアで発表した後、全体で共有しました。なるほどと思う意見が多くあり、たった2か月でここまで考えられるようになった、1年生の成長を感じました。根拠を明確にすることは、本校で目指す児童像の一つです。

その後15分間は、ひらがな「な」の練習です。「な」

がついている友達の名前や「な」がついている言葉を探し、手拍子に合わせて読んでいきました。動作を入れると楽しい学習になります。また、語彙を増やすことにもつながります。

国語…2年生「スイミー」キーワードを探す(要約する力)

スイミーの特徴は

カラス貝より黒い

2年生の国語で昔から扱われている「スイミー」という教材があります。その第一場面です。スイミーの特徴のキーワードを、文章の中から探していきます。①小さな魚②カラス貝より黒い③だれよりも速く泳げる。このように低学年でキーワードを探し出すことができれば、高学年

になったときに文章の要旨を捉えたり、要約したりする力が付くようになると思いながら見ていました。「カラス貝」を大型ディスプレイに映した際の「オー 黒い」という声に子供たちの素直さを感じ、うれしく思いました。

道徳授業地区公開講座 童話屋創業者・編集長 田中 和男先生

講演会では、素敵な話を聞くことができました。講師は「フレデリック」等の絵本や、「のはらうた」などの詩集を出している出版社、『童話屋』の創設者で、編集長をされている方です。谷川俊太郎さんの話や文章の解釈など、心が洗われる思いがしました。よい時間を過ごすことができました。

